

収入印紙
(消印しないこと。)

言語聴覚士国家試験受験願書

ふりがな 氏名				性別	男 女	受験番号	※
生年月日	明治 大正 昭和 平成	年月日	本籍 (国籍)	都道府県	受験希望地		
現住所	都道府県 市郡区			(郵便番号 -) 電話番号 ()			
養成施設名							
最終学歴	学部(学科)			年卒業(見込)			
受験資格 (該当項目に○印をつけること。)	資格該当項目			添付書類			
	養成施設卒業者 (一般・短期)	法第33条第1号		・養成施設修業(卒業)証明書			
		法第33条第2号					
		法第33条第3号					
		法第33条第5号					
		法附則第2条		・養成施設修業(卒業)証明書 ・平成10年9月1日現在、養成施設において修業中であつたことを証する書類			
指定科目履修者	法第33条第4号		・大学等卒業証明書 ・指定科目履修証明書				
	外国養成施設卒業者	法第33条第6号		・厚生労働大臣による受験資格の認定を証する書類			
	実務経験者	法附則第3条		・履歴書 ・指定講習会修了証明書 ・実務経験等を証する書類			
連絡先	電話番号 () (内線)						

上記により、言語聴覚士国家試験を受験したいので、申し込みます。

平成 年 月 日

厚生労働大臣 殿
指定試験機関代表者

氏名

印

- 備考
- ※印欄には、記入しないこと。
 - 該当する不動文字を○で囲むこと。
 - 黒ボールペンをうい、かい書ではっきりと記入すること。
 - 指定試験機関に申し込む場合には、所定の手続により受験手数料を納付し、収入印紙ははらないこと。
 - 修業(卒業)証明書・指定科目履修証明書・実務経験等を証する書類については、それぞれ学校・養成施設・勤務先の長(所属長等)の発行に係るものであること。
 - 法附則第2条に該当する者のうち、平成10年9月1日現在、現に養成施設の課程を終えている者にあつては、受験資格を証する添付書類は、養成施設修業(卒業)証明書のみでよいこと。
 - 記名押印に代えて、署名することができる。
 - 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とすること。